

令和2年度病害虫発生予察特殊報第1号

令和2年7月2日
愛知 県

1 病害虫名：ヨコバイ科の一種 *Eupteryx decemnotata* Rey

2 発生作物：ローズマリー

3 発生地域：東三河地域

4 発生確認の経過

令和2年5月、東三河地域のローズマリー露地栽培ほ場において、ローズマリーの葉が黄化する被害が発生し、ヨコバイの成虫（図1、2）と幼虫（図3）が確認された。農林水産省名古屋植物防疫所に同定を依頼した結果、ヨコバイ科の一種 *Eupteryx decemnotata* Rey であることが判明した。

5 国内における発生状況

平成28年に千葉県、その後、神奈川県、大分県、京都府のローズマリーで確認され、特殊報が発表されている。また、大阪府でも発生の報告がある（河内邦弘(2018)、Nature Study 64(7):7）。

6 本種の形態及び特徴

成虫は体長2.2～3.0mmで細長く、体色は黄緑色。前翅に褐色で縁取られた斑紋を多数有する（図2）。頭部には10個の黒色斑紋がある（図4）。

国内での生態はわかっていない。本種はヨーロッパ原産で、ヨーロッパ各国のほか、アメリカ合衆国やチュニジアで発生が確認されている。寄主植物はシソ科で、ローズマリー以外に海外ではレモンバーム、ペパーミント、イヌハッカ、バジル、マジョラム、オレガノ、セージ、タイム等への寄生が確認されている。

7 被害

ローズマリーでは、本虫の吸汁により葉表にかすり状の黄白小斑点が生じ（図5）、被害が大きいと葉全体が黄化する（図6）。

8 防除対策

- (1) 令和2年7月2日現在、本種に対して登録農薬はない。
- (2) 防虫ネットで植物を覆い、侵入を防止する。
- (3) 被害が大きいの株は抜き取り、穴に埋める等適切に処分する。

9 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室

電話 0561-62-0085 内線471



図1 成虫



図2 成虫



図3 幼虫



図4 成虫の頭部



図5 かすり状の黄白色小斑点



図6 葉が黄化した株